

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

論 説

イギリス工作機械産業の分析…………… 鈴木 孝 男 (1)

現代救急医療とその展望

—小児救急医療の現状と21世紀に向けた救急医療政策の提言—

……………鈴木 哲 司(43)

研究ノート

ソフトウェア企業の財務的—考察

—倒産事例を中心として—…………… 嶋 根 進 (83)

産業革命黎明期における外注見積原価計算

—チャールズ・バベッジの所説を中心にして—

……………新 川 正 子(111)

明治の企業家 杉山徳三郎の研究

創成期の大津造船所と兵庫製鉄所について

—徳三郎史料による史談会資料の検証—…………… 杉 山 謙二郎(185)

抄録…………… (203)